

人形劇団プークの

糸あやつり人形劇

# 12の月 のたき火



「マルーシャ、母、姉のリーザ

マルーシャと二人の火の精（連写）一

大和市 綾瀬市 座間市 各市教育局委員会後援  
大和おやこ劇場（1980年創立もうすぐ40周年！）

第287回例会

3歳からの低学年部

★2020年2月24日（月）

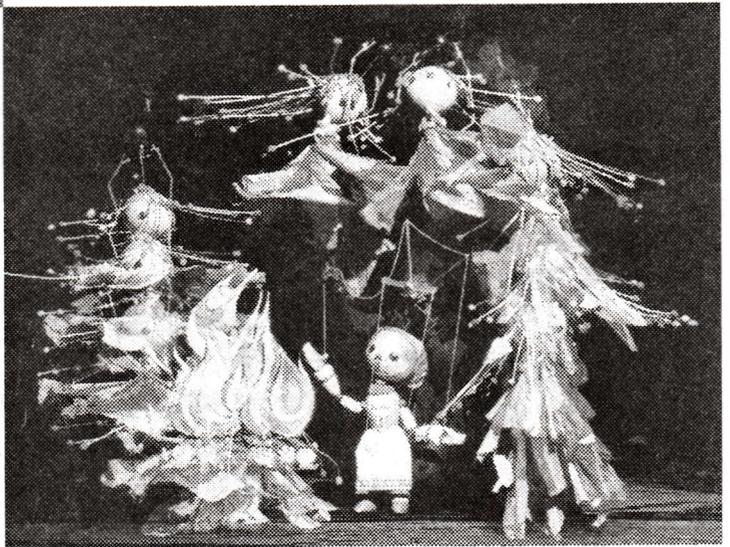
★14:00開場 14:30開演

★シリウスメインホール

自然の厳しさ、優しさに向き合  
って生きるマルーシャの物語

12月、いちごが大好きな王様が言いました。

「いちごを持ってきたら金貨をやるぞ」。冬にい



ちごなんてあるわけがないのに。ところが、マルーシャは母から命じられました。「森に行っていちごをとっておいで」。マルーシャは雪の積もった夜の森の中をとぼとぼと歩きます。いちごを持たずに帰ったらどんなにひどく叱られることか。マルーシャはこのまま凍え死んでしまうのでしょうか。でも、森の奥に火が！思い切って近づくと、12の月の精達が年替わりのお祝いをしていたのです。マルーシャからわけを聞いた12の月の精達は、マルーシャのために、一時間だけ、いちごが実る五月を森に呼び込むことにしました。【アハギの民話より】 ●冬から春に

変わる場面、春から冬に変わる場面など、不思議で美しい場面、色彩的に豊かな場面が観客を劇世界に引き込みます。●小動物達の人形、糸操り人形、立絵人形（12の月の精達他）というふう

に技法の異なる人形達の一つの世界を作り出します。●子ども達の心に夢と優しさを届けます。

★スタッフ 作・演出プラン／川尻泰司 演出／岡本和彦 美術／中山杜弁子 照明／阿部千賀子

★キャスト 大橋友子、市橋亜矢子、野田史図希、有田智也、前田佳奈英、遠田香苗 ※上演時間=休憩を含む1時間25分



※大和おやこ劇場は、優れた舞台芸術の鑑賞を通して子ども達の心を育む会員制の会（社会教育関係団体）です。子どもから青年、父母まで900名の会員がいます。低学年部は3歳からいつでも入会できます。入会金 200円 会費（月額）1400円 ※お問合せは☎大和北部おやこ劇場 046-276-1395 大和南部おやこ劇場 046-269-2247 **もうすぐ40周年！**

# 12の月のたき火 人形劇団ブーク

ものがたり 作/川尻泰司

私はマルーシャ。14歳。スロバキアに住んでいます。冬になると森は雪で真っ白になります。お母さんと姉のリーザと私の三人で暮らしていますが、母は私にだけ仕事をさせます。でも、私は仕事が好きです。森にでかけ、季節に応じてイチゴ、リンゴ、キノコをとり、たきぎを拾い集めます。

年末が近づいた頃、お城の王様がおふれを出しました。「イチゴをかごにいれてもってきたものには金貨をやる」。姉のリーザが金貨で新しい服を買いたいとだだをこねて、母は私に森へ行ってイチゴを探して来いといいます。冬にイチゴなんてあるわけがないのに…。ためらっている私を母は「ぐずぐずしてるのが一番嫌いさ」と叱ります。私はいやいや寒い寒い夜の森へ出かけました。「イチゴを持たずに帰ったら叱られる。死んでしまいたい」

とぼとぼ歩いていると向こうに火が…。盗賊かしら。でも、このままだと凍え死んでしまう。私は思い切って火に近づきました。するとたくさんの男の人達が火を囲んで歌い踊っていました。12の月の精達が年替わりのお祝いをしていたのです。

私の窮状を知った12の月の精のお兄さん、おじさんたちは、私のために短時間、森に春を呼んでくれました。私の目の前には冬なのに、ルビーのように真っ赤なイチゴが！私は心の底からお礼を言いました。もちろん、今夜の特別なイチゴのことは12の月の精の皆さんと私との秘密です。決して誰にも言いません。

私がお家に帰ると、姉と母はイチゴをもって城へ出かけました。

ところが大変なことになってしまったのです。王様はイチゴがもっとほしくなり、金貨をあげるどころか、イチゴのありかを言えと言い出しました。母も姉も答えようがありません。

怒った大臣の命令で痛い目にあった姉は、私の名を口にしてしまい、私は城へ連行されました。私がイチゴのありかを言わないので、王様はかんかんです。

## 子ども達に伝えたいこと

★マルーシャの子ども像 逆境の中でも自分らしさを失わずに健気に清らかに生きる女の子。

★人の痛みに寄り添うことの出来る優しさ

下見感想から 雪の森に行ってイチゴを探して来いという理不尽な命令の前で無力に立ち尽くすマルーシャの姿が実に哀れ。そしてマルーシャは森の中で絶望するが、遠くに火を見つけ、山賊かもしれないという恐れを抱きながら火に近づき、精霊たちに歓迎される。そして冬にイチゴを探すという不可解な行動にマルーシャの苦悩を見出した五月の精が糸口を作り、精達は、マルーシャにかご一杯のイチゴを持たせる。マルーシャの心痛に寄り添ってマルーシャを救う手立てを講じてくれる精霊たちの温情が心にしみる。人の痛みに寄り添うことの出来る優しさ。これこそ、人間にとって一番大切な資質なのだと思う。

●12の月の精達の方で、森の中が冬から春に変わる場面（雪景色が五月の緑色に変化し、そこに真っ赤なイチゴが赤を添える場面）など、不思議で美しい場面、色彩的に豊かな場面が観客を劇世界に引き込みます。

★劇団との事前交流会 ベテラン俳優の大橋友子さんをお迎えます。12/5（木）10～12 シェア6階 未入会でも参加できます。お気軽にご来場下さい。入場無料。但し、会場費分担金あり。保育あり。



おやお劇場の子育て懇談会（説明会）にお気軽にご参加ください。

★ 月 日（ ） 時 分～ 時 分 ★会場→

★ 月 日（ ） 時 分～ 時 分 ★会場→

★あなたのお近くの連絡先⇒（ ）電話（ ）

★短信   <http://yoyako.html.xdomain.jp/>